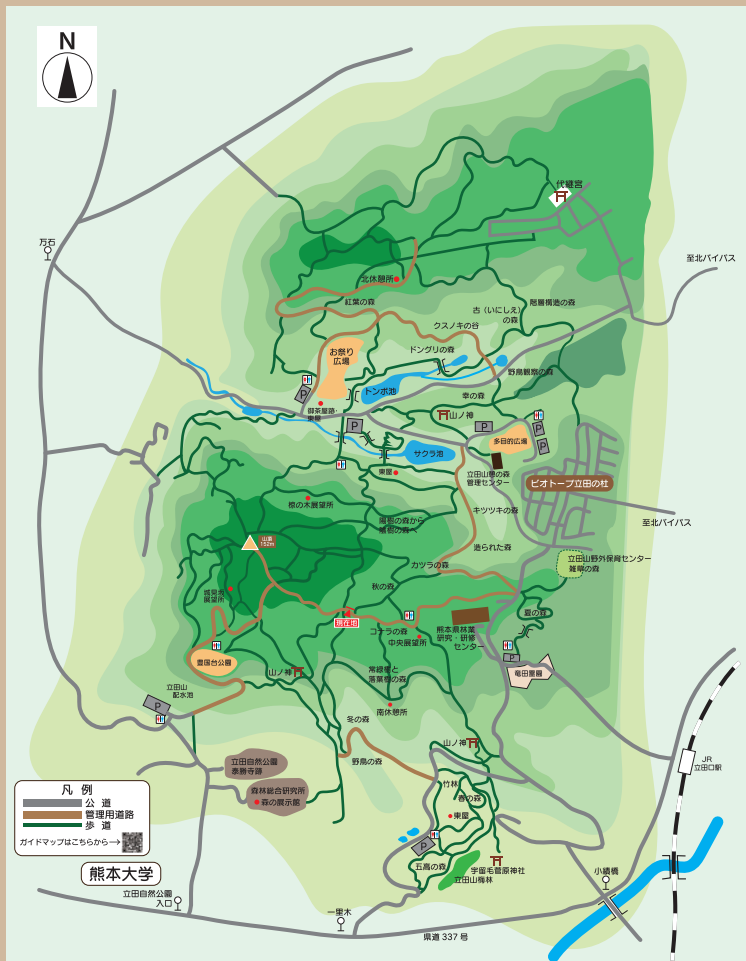


熊本ふるさとの森林「立田山」の森ガイドマップ

熊本市の近郊、熊本大学の背後にある立田山は、市民の手軽なハイキングコースになっています。登山道はいくつもあり、山頂までわずか20分ほど。

国の天然記念物ヤエクチナシの自生地で、植物や昆虫、野鳥が数多く生息しています。また、立田山周辺には史跡が多く、縄文・弥生時代の遺跡のほか豊国廟跡があり、ふもとの泰勝寺跡（立田自然公園）には細川家歴代の墓が並び、多くの観光客が訪れます。旧制五高（現熊本大学）に学んだ寺田寅彦が「食後、独り立田山に登る。処々くちなしの花香へり」と日記に書いているように、立田山は古くから多くの人に愛されています。



お祭り広場



南休憩所



林内の様子



ミュージアム説明板



五校の森東屋



山ノ神



自然観察会



森の展示館



眺望 (植木方面)



眺望 (椋の木展望所)

～森林ミュージアム観察コース～

立田山にはA～D 4つの観察コースが設定されています。観察コースを歩いてみよう。森の説明板もあります。

森林ミュージアム案内図はこちらから→



立田自然公園

細川家の菩提寺泰勝寺後で初代・2代夫妻の墓「四つ御廟」をはじめ、歴代藩主の墓があり、杉木立に囲まれた「苔園」や茶室「仰松軒」があります。



代継宮

961年に茶白山麓（現花畑公園）に「四木宮」として創祀、名を「代継宮」と改め、本荘の白川河畔を経て平成元年現在の地に遷座されました。「代を継ぐ」神社として信仰されています。



この案内板は、水と緑の森林ファンド事業で作成したものです。令和2年12月 公益社団法人熊本県緑化推進委員会